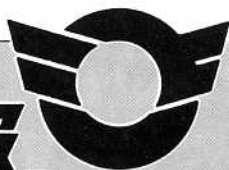


保育園からこんにちわ

もうすぐ一年生

いまいひろみち(六歳・日向)

越原保育園



No. 327 63/4

広報 ひがししらかわ

発行 東白川村 編集 東白川村企画課 〒609-13 岐阜県加茂郡東白川村神戸548番地
☎(05747)8-3111・内線31 印刷 益田郡下呂町 下呂印刷有限会社

で会いの春 ・別れの春

今年の春、東白川小学校では34人の卒業生を送り出し、新たに36人のチビっ子たちが、元気にやってきました。東白川中学校を卒業した生徒は58人、高校入学42人、就職・定時制等へ16人と、それぞれの希望を胸に巣立って行きました。

別れの涙が乾いて、いつものにぎやかさがもうすぐ戻ってきます。



▲大きく育て!! 未来に向けて(小学校入学式)



▲ほくのこれだヨ!! 全校登山の思い出を34枚の陶板画に(小学校卒業記念作品)

人口の動き

—3月末住民登録人口から—
世帯数……………916世帯
人口……………3,560人
転入……………23人
転出……………51人
出生……………1人
死亡……………7人

先月と比較して28人減
昨年と同月と比較して8人減

ふれあい

何を求めますか

積極予算で答えたい

() 内前年対比

一般会計	15億3,400万円 (4.4%増)
特別会計	7億9,425万円 (1.5%減)
総計	23億2,825万円 (2.3%増)



四つの柱を重点に
産業経済の基盤づくり
健康で住みよい環境づくり
温かい心のかよ福祉の充実
心ゆたかな人づくり

63年度予算

昭和六十三年年度の村の予算が決まりました。三月八日から開かれた第一回村議会は、総額二十三億二千八百万円余りの村の当初予算を議決して、十日に閉会しました。四月一日からこの新しい予算による六十三年度がスタートするわけですが、私たちの暮らしに直接関係する村の予算を身近な話題に乗せて眺めてみてください。

一般会計

実質12%の大幅増

村の予算は一般会計と特別会計に分れています。大部分の事業や事務は一般会計に含まれていますから、まず一般会計から見ることにしましょう。

村の予算編成は最初に「歳入」がどれだけ見込めるかという検討から始まります。

今年度の一般会計歳入総額は十五億三千四百万円ですが、これはもちろん「歳出」の総額と同額であり、昨年比べて四・四パーセント多くなっています。しかし前年度は企業誘致に伴う第三セクターからの特別収入が一億円あったので、これを除いた実質的な増加は十二パーセントで、久しぶりの積極型予算となりました。

歳入の中ではほぼ半分に近い比率を占めるのは地方交付税ですが、これは法律によって国から交付されるもので、このほかにも自動車取得税交付金など国から交付される金は全体で五十五・八六パーセントにのぼり、国の財政に左右される地方財政の実態がうかがえます。

皆さんから納めていただく村税は一億七千万円弱で全体の十一パーセント、一世帯平均十八万三千円くらいになっています。

村税のほかに住民の皆さんから納めていただくものは分担金負担金、使用料などで、歳入全体の十七・〇八パーセントであり、国や県から交付される金に頼らざるを得ないのが実情ですが、反面これらの国費や県費をできるだけ多く獲得し、積極的に村の発展のための事業を行っていく努力が大切であると言えます。

歳入の中に約二千万円の財産収入が見込まれていますが、このうちの一千五百万円は久須見の村有林の木材を処分して得るもので、先人の、山を愛し山を育てる努力が、いま村の財政に貢献しているわけで、この感謝の気持ちを出面に活かして、林業を始めとする村の産業育成に気を配った、「いきいきとした緑の村づくり」が今年の予算の特徴であります。



大切な財産収入源・村有林を監視する村議会の皆さん



道・ゆとり あなたは

総額23億円

そこで林業振興のために最も必要な林道の開設を進めるため受益者負担金の軽減を図ること

林業を土台に 村おこし

歳入面でも山林の事を述べましたが、村の面積の九十一パーセントを占める山林は村の最大の資源です。しかしそれが十分に活かされているとは言えません。

中でも産業の振興は、今の村政の最大の課題であり、このための費用は農林水産業費と商工費を合せて五億六千万円を超え一般会計予算総額のちょうど三分の一となりました。



産業経済の基盤づくり

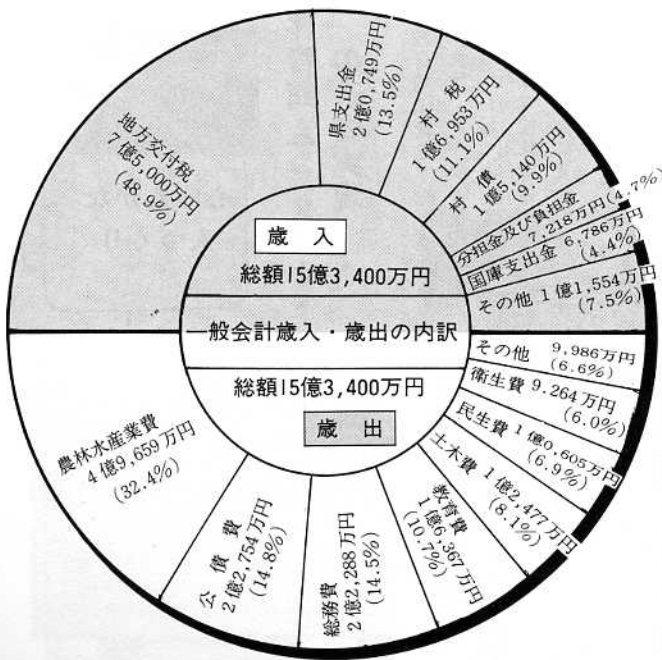


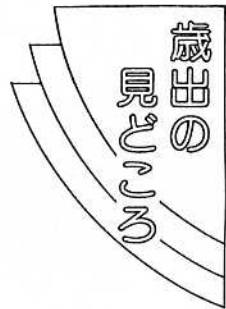
とし、大沢林道、菊久里林道の開設を行います。また間伐を奨励する補助金を一千百万円など東濃ヒノキを育てるための予算に加えて、そのヒノキを使った木造住宅「東白川の家」の建設促進費に四百五十万円余を見込んでいます。更に今年度はコンピュータを使って木造建築の柱や桁などを加工する「プレカット工場」を、森林組合や建築業者の皆さんが共同して建設する計画が進んでおり、この計画樹立費用が予算化され、木材の生産から加



上棟祝し「東白川の家」の目録を贈呈

工販売まで、バランスのとれた木材関連産業の発展をめざしています。





機械化で 農業にゆとりを

農業関係予算では県営畑総事業で整備された水田の作業を機械化するため、農協が中心になって結成される機械化営農組合の資本補助金が計上され、一方水田転作によってトマトなどの園芸作物を伸ばす予算、茶の品質向上費などキメ細かな対策を行います。



農業は営農組合へおまかせ



健康で
住みよい
環境づくり

道路改良は 大幅に進めます

住民の皆さんが最も関心の高い道路の改良整備も重点のひとつです。

県道の改良は県費で行われるので直接村の予算には関係がありませんが、五加バイパスの着手や越原地区の改良計画の樹立を精力的に進めます。

また村道改良は西洞本線の今井好美さん上の橋梁と、継続中の粕本線を実施し、新しく日向本線の工事に着手する予定です。

さらに県営畑総事業の基幹農道と農村総合整備モデル事業で五路線、合せて五千メートルを超える改良と舗装を行います。



新・旧道路直結西洞橋梁工事



温かい
心のかよう
福祉の充実

最重点、社会福祉 協議会の法人化

社会福祉の面でも今年度は特筆すべきことがあります。

そのひとつは社会福祉協議会が法人化されて、八月から専任職員、専用事務所でスタートすること、そのために村民センターの一部が改造されます。

もうひとつは戦時中の分村計画という国の施策によって満州へ渡った開拓団の方々を中心とした慰霊訪中団の派遣です。



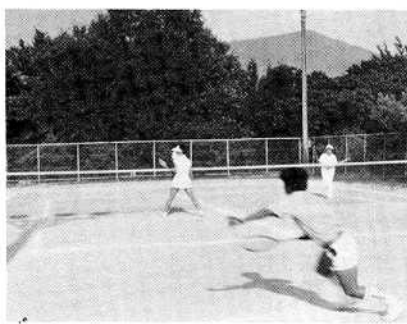
心ゆたかな
人づくり

体育館・テニスコートの 改修実現

教育関係費では総合運動場のテニスコートが改修され快適な二面のコートに生まれ変わります。

また中学校体育館の改修費とスクールバスの更新が予定されています。

昨年第一回大会が盛大に開かれたつなびき選手権大会を今年も開催するよう予算化しました。



新コートへスマッシュ

未来博・立村百年 イベント目白押し

今年には未来博の年であり、また来年は東白川村が生れてから百年にあたります。

村では今年と来年の二年間に各種のイベントや記念行事を通じて新しい村づくりの気運を育てたいと考え、そのための費用を予算化しました。

中でも昨年度商工会を中心として展開されたむらおこし事業を今年も継続するための補助金と、村へ訪れた人たちに村の案内を兼ねてイメージを高めるための案内標識の設置費、九州や東北地方など遠く離れた所から結婚によって東白川村民になられた方に対する、里帰り旅費の補助など、「ふるさと予算」と呼べるような分野が充実したのが特徴となっています。

ぎふ中部未来博 7月8日・9月13日
ふるさと日本一広場
東白川村の日8月5日!
シンセサイザーと大鼓の愛
未来博開催まで
あと**84**日
藤根広幸 作曲 東白川鎮歌
シンセサイザー 演奏 大鼓 三味線 子太鼓
ILキートン式紙製 発売 170名

東白川病院はほかに医療機関の無い私たちの村の健康を守る唯一の総合施設として、ますます大切な役割を果たしています。しかしその経営は常に厳しく支出に対して収入が不足する分を一般会計から繰入れて賅っています。

この繰入金は今年の予算では三千万円と予定されており、この額はいわば村の皆さんの健康を維持するための資本金です。病院では医師を中心に経営の合理化と採算性の向上のための努力



新病棟は笑顔がいっぱい

を続けていますが、病院は宣伝をして積極的に患者を獲得するようなことはできません。村民の皆さんがもし病院へ行く必要があるときは、できるだけ、東白川病院を利用していただくことが、病院の経営を助ける何よりの薬となることでしょう。

国保会計

国民健康保険特別会計は総額二億三千万円で、皆さんから納めていただく保険料と国庫支出金を主な財源として、村の人口のおよそ六十パーセントにあたる二千三百三十人前後の人々の医療費に対し、七割の支給を行うほか、高額療養費、助産費などの給付(支給)を行います。



あかちゃんもすくすく

くれる大切な制度です。単純に計算して、国民健康保険特別会計の対象者一人当たりの予算額は十万八千円くらいになります。このうち一人当たりおよそ四万五千円余りを保険料として納めていただくこととなります。またこの会計から老人保健特別会計への拠出金も繰出され、老保特別会計を支えています。

特別会計 予算

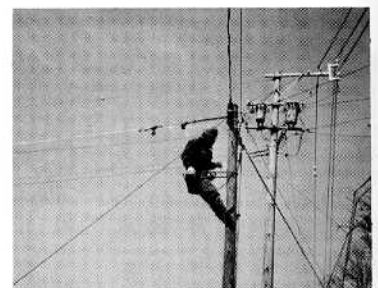
総額 7億9,425万円

国保会計	2億3,000万円 (8.0%減)
分収造林会計	150万円 (皆増)
老人保健会計	1億8,500万円 (6.0%減)
有線放送会計	2,000万円 (12.3%減)
病院事業会計	3億5,775万円 (6.3%増)

有線放送会計

毎日のお知らせで長い間皆さんに親しまれている有線放送はこの特別会計で運営されています。

近年施設が老朽化し障害なども多くなって来たので、今年あたりから新しい施設への衣替えについて検討する必要があると来りました。



施設の老朽化で保守工事に多忙

老人保健会計

村の七十歳以上のお年寄りは今年一月一日現在で五百四十七人であり、毎年確実に増えています。



お年寄りに医療費の給付

を支給する制度で、一カ月八百円と入院は一日四百円の本人負担、及び差額ベット等の特別な費用を除いてあとはすべてこの特別会計から支給されお年寄りのすこやかな生活を守っています。

分収造林費特別会計は一般会計から繰入れた百五十万円を総額として、奥平分収造林(神土下親田)に約五百メートルの造林作業路を開設するための負担金と、三十四ヘクタールの除間伐を行うための費用を予算化した村の基本財産を育て、後世に残したいと思います。

分収造林会計



除間伐で良質材生産

今年1年ごくろうさまです 各団体役員 of 皆さん

昭和六十三年度の各種団体長や役員などが決まり、この四月から皆さんの代表として、また世話役として、ご苦労を願うことになりました。
今後、村づくりの推進役として活躍いただく新年度の役員のかたがたをご紹介します。
(敬称略)

田一巳

PTA

◇小学校 ▼会長—安江哲男 (日向) ▼副会長—安江光昭 (上親田)・村雲令子 (神付)

◇中学校 ▼会長—大坪兼行 (上親田) ▼副会長—新田久 (加舎尾)・村雲和男 (陰地)・今井照夫 (大沢)

子供会

◇会長—安江龍次 (平) ▼副会長—安江正彦 (西洞)・安江晴夫 (大明神)・今井英信 (宮代)

高校生保護者会

◇会長—田口節春 (西洞) ▼副会長—梅田典孝 (大沢)・安江正明 (陰地)

婦人会

◇会長—村雲かず (日向) ▼副会長—菊田良香 (曲坂)・安江もりゑ (宮代) ▼書記—牧野智和 (日向) ▼会計—安江忠子 (陰地) ▼神土支部長—安倍富子 (西洞) ▼越原支部長—桂川美智子 (橋山) ▼五加支部長—今井ちづ (柏本)

青年団

◇団長—今井繁人 (陰地) ▼副団長—安江修治 (平)・田口

輝久 (中谷)

新体制でアタック

役場機構改革 と人事異動

今年度の目標達成にむかって、各分野ごとに円滑な推進ができるよう、役場の機構が一部変更されました。
その内容は、今までの開発局と産業課が廃止され、新しく企画課と農務課、土地改良課が生まれました。企画課の中には、企画財政係と商工広報係が、農務課の中には、農務係と普及係が設置され、キメこまかな推進を展開します。土地改良課は、管理係と、土地改良係で農業生産と生活環境の整備を進めます。これにともない、次のように職員が異動しました。

() 内は前所属課

企画課

課長—藤井茂樹 (開発局) ▼企画財政係長—村雲寛 (総務課)・同係—伊藤保夫 (同)・同—高井恵里子 (総務課) ▼商工広報係長—安江誠 (産業課)・同係—村雲陽司 (開発局)・同—熊沢寛 (同)・同—古田紀代子 (同)

農務課

課長—高木孜 (産業課) ▼農務係長—渡辺昭彦 (建設課)・同係—安江弘企 (産業課) ▼普及係長—安江正彦 (同)・同係—安江宏 (教育委員会)・同—桂川憲生 (産業課)

土地改良課

課長—嶋倉捷司 (産業課) ▼管理係長—安江啓次 (産業課)・同係—今井清高 (同)・同—今井英樹 (同) ▼土地改良係長—村雲義英 (同)・同係—小池毅 (同)

建設課

林務係—安江吉信 (総務課)

教育委員会

事務局—安江任弘 (産業課)

民生課

五加保育園—伊藤かつえ (神土保育園)

また、四月一日付で四名の職員が退職し、新しく五名が採用されました。

退職

安江久江 (調理員) ▼熊沢めぐみ (保母) ▼安江るみ (保母) ▼今井桂子 (教育委員会)

新採用

糸魚川純 (教育委員会) ▼安江啓子 (調理員) ▼青木裕見子 (看護婦) ▼大谷寧子 (医師) ▼山田隆司 (社会福祉協議会)

戸籍の窓 三月—敬称略



(大明神) 田口 正幸 愛

誕生おめでとう
ございます



いつまでも
おしあわせに

結婚

安江 任弘 (平) 村田 法美 (白川町)

安江 章匡 (柏本) 山之内裕子 (羽島郡柳津町)

安江 正人 (白川町) 板垣紀代子 (黒淵)

安江 忠広 (下親田) 大坪 成子 (陰地)

松岡 昭信 (陰地) 今井佐知子 (大明神)



おくやみ
申しあげます

松岡隆幸は 73歳 (陰地)
小池 達雄 69歳 (中谷)
安江政一郎 85歳 (黒淵)
安江ちやう 87歳 (陰地)
村雲 由た 79歳 (日向)
安江 計吾 68歳 (大明神)
古田カヲル 74歳 (大口)
村雲志づる 83歳 (曲坂)

無火災の努力をバトンタッチ

消防団入退団式

昭和六十三年度の消防団入退団式が、三月二十日総合運動場で行われました。

式では、退団者に村長から記念品と感謝状が贈られ、新入団者へは中島潮巳団長から辞令が交付され、入団者を代表して伊佐治鉄男さんが力強く宣誓しました。

新年度の幹部構成も決まり、中島団長以下百九十名の体制で村の守りがスタートしました。

退団者、入団者および新年度の幹部構成は次のとおりです。
(敬称略)

退団された方

▽副団長―松岡洋一
▽分団長―安江利英、今井英信
▽副分団長―村雲映司、安江修次、今井満男、土井秀男、安江明雄、今井克次
▽部長―安江和広、田口実、今井守、今井泰博、嶋倉玄治、今井俊郎、安江博、高井孝二

入団された方

▽第一分団―今井敬治、安江利保、安江道彦、伊佐治鉄男、木村恒久
▽第二分団―田口良之、古田正貴、安江幸喜、今井克幸
▽第三分団―桂川透、菊田章雄、大坪浩之、馬淵祐弘、桂川幸裕、松岡常好
▽ラッパ隊―今井孝司、安江稔



村を守りますノと誓いをのべる伊佐治鉄男さん



退団者へ記念品と感謝状が、手渡されました。

万全の体制

新年度幹部構成

▽団長―中島潮巳
▽副団長―安江廣文、安江美好
▽本部長―古田公平(訓練部長兼務)
▽ポンプ部長―今井武司
▽予防部長―今井直美(ラッパ部長、団旗手兼務)
▽本部係長―楯光
▽第一分団長―安江健二
▽副分団長―田口和道、田口真澄
▽第二分団長―今井建夫
▽副分団長―野村孝
▽第三分団長―今井章
▽副分団長―田口和志、内木真佐勝
▽ラッパ隊長―新田鈴一
▽副隊長―今井芳行



女医さん

東白川村の皆さんこんにちは。大谷寧子です。三月末まで岩手県立軽米病院の内科医として診療にあたっておりました。これから東白川村の一村民として仲間入りさせていただきますと共に、村の皆さんに喜んでいただける医療を提供したいと考えております。四月四日から二ヶ月間は県立岐阜病院で小児科の研究をしておりますので皆さんにお会いできるのは六月からになると思います。どうぞよろしくお願ひ致します。(吉城郡古川町出身、斐太高校、自治医科大学卒、三十三歳夫は小坂病院勤務、子供無、趣味茶道)

お客さんは 外人さん

四月三十日、私たちの村に二十五カ国三十五名の外国の人たちが訪れ、国際交流会が開かれます。国連の組織が行う、開発途上国の政府職員が日本の現地を視察し研修するのが目的ですが、この機会に私たちの村の国際化が進むことが期待されます。

善意の寄付―敬称略

【社会福祉指定寄付金】
現金五万円―村雲喜知夫(日向)
現金五万円―安江信彦(陰地)
現金十万円―古田伸幸(大口)

【神戸保育園へ】

大型壁面鏡―第二十四回卒園児保護者一同・電動式タックキングカッター―安江久江(平)
図書費四万六千円―神戸保育園保護者会・わらぞうり五十足―古田かつの(上親田)
絵本十二冊―田口金雄(加舎尾)

【越原保育園へ】

テレビ二台―熊沢めぐみ(大明神)・ミキサ―一台、ホットプレート―一台―昭和六十二年卒園児一同・図書三冊―松岡幸祐(陰地)

【五加保育園へ】

絵本十五冊―古田正子(久須見)・絵本二冊―今井実郎(下野)・自動カメラ―一台―安江るみ(陰地)・カセットテープ、プレーヤー―一台―今井満男(大沢) 山下雅春(柏本)

明治二十二年に東白川村が生れてから来年で満百年です。

その歴史をたどりながら未来を考えてみましょう。

第一回は満州開拓団の記録をたどります。

昭和の始め

村は貧しかった

「恐慌」という言葉は今では辞書でしかお目にかかれなくなっていますが、「経済の均衡がくずれて混乱する状態・パニック」と解説されています。

昭和の初期、私達の村はその世界的大恐慌(きょうこう)の嵐にほんろうされていました。

物価の大暴落によって当時の主要産業であった「まゆ」の販売額は半年の三〇パーセントにも満たない状況で、某新聞紙上に「日本一の借金村」というレッテルを貼られる始末でした。

返すあての無い負債のドロ沼にあえぐ農民が日本中にあふれた農村恐慌の中から、政府が打ち出した満州移民政策は、戦争という特殊な条件下でしだいに拡大され、昭和十七年になって東白川村経済更生計画の中に集団移民計画が盛り込まれました。これが分村計画と呼ばれるも

ので、文字どおり北部満州(北満)の東柳毛溝という地区に、第二の東白川村を建設しようという壮大なドラマであったとも言えましょう。

この「東柳毛溝開拓団」の団長は五加大沢の今井好夫さん、(現在九十二歳)で結果的に二百戸の送出計画に対し七十三戸三四四人が渡満したことになります。

当時の団員の一人荻田菊次郎氏(曲坂・故人)が郷土の越原小学校に送った手紙の一節を紹介しましょう。

北の大地に

夢を抱いて

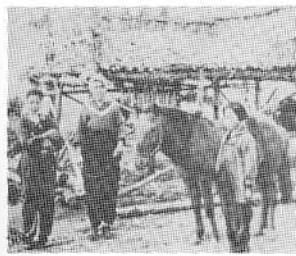
『(前略)我が東白川村開拓団の入植地は北満でもずつと北の方で、黒河省一つ隔ってソ連領となっている処です。(中略)』

満州の地勢は大別して平原地帯、波状地帯、山岳地帯となっておりませんが、この平安省一帯は波状地帯の代表的なもので、幅一里(四キロメートル)も二里もあるなどらかな大きな丘が波のようになって果てしもなく続いております。(中略)

入植地は総面積八千町歩(八千ヘクタール)このうち農耕地となる原野が二千六百町歩、山

北満の地に第2の東白川村があった!

世界大恐慌がまねいた 分村への道



満州馬が開拓の夢を引く

林三千町歩、牧野一千町歩、湿地一千四百町歩となっております。

(中略)

満州は冬の間が長くてつらいこともありましたが、昨今春が訪れて、大空には端麗な鶴や数百羽の雁の列が飛び舞い、ノロ(鹿)が遠い丘をかけて通り、インチエンホワ、姫桜草、鈴蘭をはじめ名も知らない草花が丘を包んで咲き乱れました。(後略)

このように夢と希望に燃えた満州開拓も、昭和二十年八月十五日、日本の敗戦によって悲劇と変りました。その状況を今井団長は次のように書きしるしています。

敗戦!

死に直面

『八月十五日、青天のへきれきという言葉がありますが、無条件降伏の報はこんな生やさしい事ではありませんでした。私達は一べんに敵中へ投げ込まれてしまいました。(後略)』

次は桂川政一さんの手記です。

『巡視隊とは偽装した土匪で室内では数名が拳銃をつき付け老人を連れ出し仰向けに寝かせて顔に水をかけるやら、若い男子の上半身を裸にして鞭でなぐるやらの乱暴をする。(後略)』

敗戦の民となり、敵地の中を身体ひとつで引揚げが始ったのは二十一年八月三十日でした。途中十六歳から三十歳までの男女五十二名は残留を命じられ、その後北満の炭坑で八年間の強制労働をさせられました。

このような過酷な状況の中で三十三名の方が死亡され、現在も満州の地で眠っておられます。

村から

慰霊訪中団を派遣

昨年の後半から満州引揚者の間に、何とか東柳毛溝の地を訪れ、現地に眠る御霊をなぐさめたいという希望が高まってきました。そして村に対して、東白川分村計画の最終処理として、村から正式な慰霊訪中団を派遣してもらいたいという要望が出されました。

村ではこれを受け、議会の同意を得て、村長と議会代表を加えた総勢二十三名の訪中団を派遣することとし、岐阜県知事のメッセージをたずさえて、七月六日から十二日までの七日間、中国を訪問することに決定したのです。戦後四十三年、第二の東白川、東柳毛溝開拓団の歴史のページは終わりに近づいたといえるでしょうか。

話題集れ!

あなたのまわりに明るい話題がありましたら係まで連絡ください。

連絡先 商工広報係 有線2155番



まごころいっぱいのお弁当を受けとる大野千春さん (平)

三百本の釣り糸に

宙を舞うあまご

東白川村観光協会と飛騨川漁業協同組合の共催による「東白川中部アマゴ釣り大会」が、三月二十日、春分の日に未来博協会の後援を得て、越原温泉から上流へ約五百メートルの区間で開催されました。

大会には、各地から約三百名の釣りファンが参加し、午前四時の受付を待つ釣人が、大会本部のサービスによる、あま酒、豚汁、お茶に舌鼓。また朝市組

合によるふると朝市では、むらおこし産品を始め、白川茶、



遠く静岡県からのファンも参加

お年寄りに 手作り料理を

「おばあさん、おいしいお料理ですよ。三月十八日、村内のひとり暮らしのお年寄り三十一人のお宅へ、思いがけないプレゼントが届きました。

村の食生活改善推進員(古田智登枝会長他二十人)が、腕にヨリをかけた手づくり弁当(巻きずし、いなりずし、洋風茶布しほり・焼魚・あえものなど)を婦人の民生委員の方と手分けして、一軒一軒お届けしたのです。

ひとり暮らしのお年寄りは、ど

うしてもふれあい不足で、食事もかたよりがちになります。

こうして一人ひとり訪れてお届けすることによって、心のふれあいを深めたいという、はじめての試みは、たいへん喜ばれました。そして同時に行ったアンケートにも、御礼の言葉とともに、次のような回答が寄せられました。

- 一、毎年こうした催しが一年二回あったほうがよい。
- 二、手料理弁当の量は、多い、普通、が半々
- 三、食事サービスを受けるのは夕食がよい。
- 四、夕食のおかずの種類は三、四種類が良い。

漬物など手づくりの産物が販売されました。

今回は、村の旅館組合が割引の宿泊予約を受け、三十一名のお客さんを泊めました。

こういう手づくりのイベントで、村全体をうるおす方法を今後とも考え、実行したいものです。

■入賞者▼大漁賞(中部未来博協会長賞)一位猿渡(美濃市)二位小野(名古屋市)三位田口清隆(東白川)▼大物賞(可茂県事務所長賞)一位長沼(白川町)▼ちびっこ賞、一位安江和隆(東白川)二位栗本健司(東白川)三位桂川義貴(東白川)



渡辺海兵さん

東京村人会(会員約百二十人)の会長、渡辺海兵さんから投稿いただきましたので紹介します。

東京での めぐり逢い

昨年十二月七日、東白川村人会の安江かつ子さん(八十四歳)が薬石の効なく他界されました。故人は昔、神土の発電所の奥様でした。

私の幼いころ、母に連れられて発電所に行きました。ものすごいタービンの音とともに体に伝わる轟音に感動し、別世界にきているような心の高鳴りを覚えたものです。

山奥の、またその山奥には、機械化された物といえはそこしかなかつたのです。村人会の皆様に不幸の報告をしたところ、八十一歳以上のお年寄りの方、二人三人から昔の懐かしかったころの発電所の思い出を返信してくれました。

なかには「村一番の美人だった」と表現してくれた方もいました。八十四歳で大往生された安江さんには、その言葉がなによりのはなむけの供養ではなかつたでしょうか。年老いた男の青春時代の暖かいロマンが漂うような気がします。

十八年も前に私の会社が青森にできたころ、原子力船「むつ」を見たときと、また特殊な紹介でアメリカの空母である「エンタープライズ」の中を見学したときの感動よりも、奥深く刻み込まれた故郷の発電所の印象の方が、はるかに心に残るものだといえます。

同じ東京で、その方の冥福を祈る運命にあった私共は、都会での尊いめぐり逢いだといえるのではないのでしょうか。

おしらせ



通信記念日
(4月20日)

あなたの善意を 社会福祉に

昨年から広報やチラシなどで村民のみなさんにお知らせしてきました社会福祉協議会の法人化については、現在まで四回の準備委員会を開いて協議を重ねてきました。

その中で、社会福祉協議会の法人設立の日を今年の八月一日とし、現在準備を進めています。法人化に当たっては、社会福祉事業法に基づいて会員制の法人組織にすることにより、組織的にも一層強化を図りたいと思っています。

会費は、一般会員が年会費一口千円、特別会員が一口五千円です。この四月の組長会議で、組長さんに法人の役員である評議員に就任していただき、村民のみなさんに社会福祉協議会へ入会していただく趣意書の配布をお願いしています。

福祉の村づくりの第一歩とし

て、みなさんに社会福祉協議会のご理解を得て会員となつていただく趣意書です。もちろん強制的なものではなく自由加入制ですが、どうか本会の趣旨をご理解いただき、一人でも多くの方々が会員になつていただきますようお願いいたします。

パスポートは 美濃加茂で

可茂県事務所では、この四月から旅券の窓口を次の要領により開設いたします。

【旅券窓口】可茂総合庁舎一階会議室（美濃加茂市古井町下古井字大脇二六一〇一一）

【取扱日時】毎週金曜日、十三時から十六時。但し、取扱日が祝日の場合は、土、日曜日を除き翌日が取扱日となります。

【申請できる人】可茂県事務所管内（美濃加茂市、可児市、加茂郡、可児郡）に住所地があるかたに限ります。

【所要日数】申請から交付まで

約二週間

詳細については、可茂県事務所総務課へお問い合わせください。☎〇五七四一二五―三一一番。また、県庁総務部総務課旅券係（☎〇五八二一七二―一―一―番、内線二二七五または二二七六）へお問い合わせになつても結構です。

募集します 青年海外協力隊

国際協力事業団では、アジア、アフリカ、中南米などの開発途上にある国々の国づくりに協力する技術と意欲を持った青年を募集しています。

▽応募資格

満二十歳から原則として三十五歳までの男女

▽応募期間

六十三年四月十五日から五月三十一日まで

▽選考試験

第一次選考（作文・英語・技術の筆記試験）、第二次選考（個人・技術の面接試験と健康診断）

▽派遣期間

二年間（海外手当などを支給）

▽派遣職種

農林水産・加工・保守操作

土木建築・保健衛生・教育文化・スポーツの各部門で約百三十種

▽募集説明会 五月十八日（水）

岐阜市文化センター、五月十九日（木）美濃加茂市中央公民館、五月二十日（金）岐阜市民会館。いずれも午後六時三十分から九時まで。

詳細については、県総務部青年婦人課（☎〇五八二一七二―一―一―内線二一九四番）か

国際協力事業団中部支部（☎〇五二―二二―一七―一〇四番）までお問い合わせください。

不燃物

偶数月が金物類

燃えないごみの収集については、今まで二か月に一回集めていましたが、この四月から金物類だけ集める月と、ガラス類だけ集める月に分けて毎月集めることになりました。

偶数月は金物類、奇数月はガラス類です。間違えないように収集予定日の前日、所定の集積場所へ出してください。集積場所などについては今までと変わりません。

▽次のことは必ず守ってください。
1 収集日の前日、最寄りの集積

場へ。その月の収集物に世帯主の氏名、住所、電話番号を記入したエフをつけて出してください。

2 プロパンガスのボンベなど爆発物は、絶対に出さないでください。

3 スプレーは使いきってから、空き缶に穴をあけて出してください。

4 オートバイ・農機具・陶器類は、収集しませんので出さないでください。

5 営業用（商店や事業所など）のごみと判断されるものは収集しませんので出さないでください。

村民センター 申込先が変わります

村民センター利用の受付窓口は、今まで産業課振興係（役場の二階）で行っていましたが、役場内の機構改革で、この四月一日から総務課行政係（役場の玄関に入って右側）に変更になりましたのでお間違えのないようお願いいたします。

今後、村民センター利用の申し込みは総務課行政係（有線二一四八番）へ申し出てください。詳しいことについては同係へお問い合わせください。

ふじの花

ノアザミ(野薊)

アザミは、野山に自生するアザミ類の総称です。種類が多く我が国には九十八種類あるといいますが、東白川村にも何種類かが自生しています。

ノアザミは、そのうちの一種で、山野に普通に生えるキク科アザミ属の多年草です。

花は、紅紫色の頭状花で、春から夏にかけて咲きます。咲き始めるのがいちばん早く五月ごろからで、この季節に咲くアザミの花は、この花だけに限られるようです。花の周りを包んでいる総苞の外側がよく粘るのが

特徴です。

茎の高さは、五〇センチメートルから一メートルくらいになり、羽状に切れ込んだ葉の縁には、鋭い刺があります。

名前の由来はよく分かりませんが「新撰字鏡」に「阿佐弥」とあり、「和名抄」に「葉には刺多し。阿佐美」とあるようです。

東白川村では、ノアザミを単に「アザミ」といつたり、「アカウマ」といつたりします。頭状花を摘んで逆さにし、トントんと周りを叩いて踊らせると、花の間に入っていった小さな虫が出てくることがあるので、幼な兒のそんな遊びから、この名が付いたのでしよう。

若葉は摘んで、揚げ物や和え物、油炒めなどにして食べるこ

とができます。春の香りがそこはかとなく漂い乙なものです。

キツネアザミ(狐薊)、ヒレアザミ(鱈薊)、チヨウセンアザミ(朝鮮薊)、キクアザミ(菊薊)など「アザミ」と呼ばれるものは他にも多くありますが、これらは外形だけ似ても、まったく別の属のものです。

アザミの花言葉は、「独立、謹厳、権威」。花の凛々とした感じにぴったりのようです。



今月の図書



美智子妃

河原 敏明著

美智子さまの感動の半生をつづる！
多くの期待と羨望のもとで成婚されてからおよそ30年。

激動の昭和史のなかで、美智子妃はどんな役割を果たされてきたか。家庭では妻として母として、どのようにしつけをされているかなど明日の皇室像を探ったものです。

疑惑の墓標

藤 桂子著

父藤雪夫を喪って二年。父娘合作の「獅子座」「黒水仙」を刊行して以来初めての単独本格長編推理小説です。

3件の連続殺人のなぞ。アマチュア探偵とプロの刑事の前に立ちはだかる鉄壁のアリバイ……。読者の心に新鮮味を抱かせる読み物です。ぜひ読んでみてください。

郷土に眠る名水・名勝・名木を求めて その一

大屋敷の清水

下親田

四月二日、下親田の安江文吾さんから、耳寄りな「名水」情報を得た。

さっそく、文吾さんの案内で探索に出かけることとなった。

一木橋をわたって樹木が立ち込める中を、一・五キロ程進むと一変した視界が広がる。

ここが大屋敷と呼ばれるところで、安江久美子さんのおかあさん、今年七十七歳になられる節子さんに、この水の歴史を語っていただいた。

「昔、このへんは一抱えもある松林やたげな、三百年ほど前に、平の若松屋附近に住んでおった人が、ここへ来て、この清水を見つけてのう、飲んだらうまい、この水を飲みながらここを開拓したそつや、それで大屋敷ができたという話やせも」
その水は大屋敷のぼたぐろの深さ一メートル足らずの岩穴から、かなりの水量で、こんこんと湧いて尽きること知らない。飲んでみると、三百年前の開拓者と同じ言葉が出た……「こりやうまい！」
あたりはほ場整備が進んで、

すっかり昔と変わった風景になっているが、水は枯れずに昔のまま、それも名水のゆえんであるろうか。

節子さんも文吾さんも、この清水には幼い頃から数々の思い出があるようであった。

時代は二十一世紀に近く、全村を対象にした水道計画も話題になる昨今であるが、こついううまい水は、大切にしたいものとしみじみ思った。

この水を大屋敷の水と名付けようか、そんな話のそばで、ふきのとうがいくつも咲いている姿は、やはりこの水に一番似合っていた。

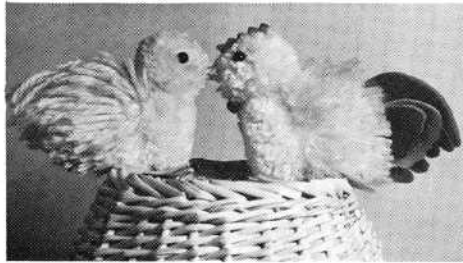


水辺で歴史を語る節子さん(77歳)

昔から言い伝えられた水の話、意外に知られていない景色などの情報をお知らせください。

私の作品

廃物利用でアイデア 生かした作品



▲小鳥・材料 毛糸のくず
沢木紀代子さん(平)

これから、小学生・中学生と一般のかたの作品を1点ずつ載せさせていただきます。

どしどし作品をお寄せください。



▲小物入れ・材料 牛乳のパック
田口恵津さん(平)



安江裕里ちゃん(一歳)上親田
一郎さん・恒子さん長女

すくすく育て



▶切り絵―友だち
(二年生の時の作品)
中学三年 渡辺敦志君
(下親田)



あなたの作品をお寄せください。
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月20日まで、伊藤重雄宛に出してください。

- 高野山三鉢の松に残る雪枝を鳴らして風も春めく
みどり濃き水仙の葉と蕾にも露の玉見ゆ春の寒きに
整地して早や二年経し田の畔に露の臺はもこたく萌ゆる
○のびやかに祝詞の響きは芽吹きたる木立を流る春祭今日は
手は手毬眼には咲くなり野への花今日も歌詠み我が胸透けり
○鉢よけし下に水仙芽吹き居て黄ばみしままに蕾太れり
野菜切る音に混りて母と娘は厨に若き声を弾ます
パイパスの車の風塵避くること福寿草はも花首を傾ぐ
早寝して目醒めし床にしこりなき体が誘ふ散歩の日課
祖父眠る小高き丘に春日さし鶯の声よく透るなり
○砂のよに崩るる脆さをわれも亦心の隅に持ちて恐るる
コリー伴れ山際行けばいのこづち毛深きにつき難儀して除る
フィギニアを炎えて舞いたるみどり娘羽田に降り立つ小雨の今日を安江
連絡船消ゆるTVの船客に自が姿もよと懐しむ夜
○火を弱め煮詰むる豆は芳しく夜更けて凍みし硝戸曇る
寒夕焼陽は射し乍ら猶残る妻の在所の遠き山脈
みはるかす伊勢の内海波白く朝熊山頂風きすさぶ
海青く空は明るく花ひらく沖繩の島に平和を祈る
茶畑に春肥施す足もとに日ざし和らき露の臺萌ゆ
最爾たる小国日本の土なれば可憎荒せば罰が当るぞ
○
籐の刃の残りの脆き身に知れど米寿つつしみ生かしてもらふ

安江 武子

古田よし江

早瀬 勇造

田口 一枝

村雲 うめ

伊藤 美枝

今井 かな

安江 節子

安江 守平

早瀬 久子

小池 弘子

安江 すみよ

伊藤 重雄

安江 香

田口 巽午

安江 幸

三戸 きり

古田五保子

山川 冽

田口 良三